

2021 年 9 月吉日

子宮頸がん検診における細胞診と
HPV 検査併用の有用性に関する研究
市町村担当者様

子宮頸がん検診における細胞診と
HPV 検査併用の有用性に関する研究
代表研究者 慶應義塾大学医学部
青木 大輔

2021 年度 研究進捗報告会 開催のお知らせ

謹啓 平素より本研究にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

本研究は、2013（平成 25）年度に厚生労働省により実施された HPV 検査検証事業の評価を実施することで立ち上がりました。平成 26～27 年度は、研究の精度を高めるために新たな自治体様にご参加いただき、HPV 検査の有用性を検証するためのデータを構築しております。本研究では、検診結果だけでなく、精密検査対象となった場合の精密検査の結果の把握及び追跡調査の実施や全ての参加者の健康状態の把握も重要であり、自治体の皆様方のご協力が不可欠でございます。

お陰様で、皆様よりお寄せいただいた検診・精密検査・追跡調査およびアンケート調査の結果のデータが日々蓄積され、今年度の研究進捗報告会では現在までのデータの集計を報告させていただきます。

例年、情報共有や情報交換の場となるよう開催していた研究進捗報告会でございますが、今年度も新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大の影響を踏まえ、会場に集まつの開催は困難である判断し、開催方式をオンライン開催とさせていただくことになりました。ご多用のところ恐縮でございますが、まずは質問等をメールにてお寄せいただきたくお願い申し上げます。

とりわけ、子宮頸がん検診のガイドラインも発表され、自治体様におかれましては今後の検診実施の方向性について関心の高い時期の報告会となりますので、可能な範囲でご参加いただけますと幸甚に存じます。

謹白

記

- | | |
|------|---|
| 1 日時 | 2021 年 12 月 6 日（月） 14 時 00 分～16 時 00 分 |
| 2 場所 | オンライン開催
(会議に参加できる URL とパスワードは後日お送りします) |
| 3 内容 | 研究進捗の報告、情報提供 |

<問い合わせ先> HPV 研究班事務局
E-mail: hpvtstudy-office@ncc.go.jp